

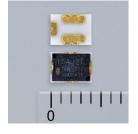
デクセリアルズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー 8F Tel 03-5435-3941(代表)

2021年6月9日 デクセリアルズ株式会社

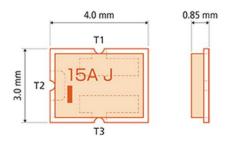
セルフコントロールプロテクターの鉛フリーモデル 「SFJ 15 アンペア T シリーズ」を製品化 -小型・薄型サイズでの鉛フリーを実現、環境負荷低減に貢献-

デクセリアルズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:新家由久、以下当社)は、リチウムイオンバッテリーの二次保護素子「セルフコントロールプロテクター(以下、SCP)」の新たな鉛フリーモデルである「SFJ15 アンペア T シリーズ」を製品化し、販売を開始したことをお知らせします。



当社の SCP は、リチウムイオンバッテリーの充放電を制御している 1 次保護が正しく機能せずに過充電・過電流が発生した際、ヒューズエレメントを溶断させて回路を遮断する 2 次保護用の表面実装タイプのヒューズです。1994年の上市以来、リチウムイオンバッテリーの普及にともない、ノート PC、スマートフォンをはじめさまざまなコンシューマーIT 機器に搭載されているほか、近年では電動工具やドローン、ロボット掃除機などでの採用も広がり、累計出荷個数は 23 億個を超えています*1。なお、当社では 2018 年に鉛フリー*2 の SCP を開発し、定格電流 22 アンペアの製品を上市しています。

今回当社が開発した「SFJ 15 アンペア T シリーズ」は、主にノート PC やタブレット PC などの大電流定格のモバイル機器やコードレス掃除機、電動工具などに適する定格電流 15 アンペアの製品です。 従来の定格電流 15 アンペア製品と同様である、横幅 4.0mm、縦幅 3.0mm、厚み 0.85mm の小型・薄型サイズを維持したほか、鉛フリー化の実現で環境負荷の低減に貢献します。また、1 セルあたりの動作



電圧範囲を 4.7 ボルト以上に向上させたことで、リチウムイオンバッテリーの高性能化による電圧上昇に対応します。

本製品の詳細

■製品名:セルフコントロールプロテクター (SCP) SFJ 15 アンペア T シリーズ (SFJ-0815T/SFJ-1215T/SFJ-1415T/SFJ-2015T)

■特長

・製品全体で鉛フリーを達成

当社独自に開発した鉛フリーのヒューズエレメントを用いるとともに、セラミック回路基板の材料構成を見直したことでSCP全体の鉛フリー化を実現。環境負荷の低減を実現します。

- 1 セルあたりの動作電圧範囲を 4.7 ボルト以上に向上

リチウムイオンバッテリーの高性能化にともない、1 セルあたりの電圧が上昇。これに対応するために、 本製品の1 セルあたりの動作電圧範囲を4.7 ボルト以上に向上しました。

・サイズは従来品同等

鉛フリーを達成しながらもサイズは従来品(SFJ 15 アンペア U シリーズ)と同じ 4.0 mm×3.0 mm×0.85 mm を維持。従来品を置き換えるだけで環境負荷の低減が可能です。

■仕様

型番	SFJ-0815T	SFJ-1215T	SFJ-1415T	SFJ-2015T
電池パック直列セル数	2セル	3セル	4セル	5セル
定格電流(A)	15A			
最大定格電圧(VDC)**3/	62/70 (UL/TUV)			
最大遮断電流(A)	48/200, 25/250 (UL)			
動作電圧範囲(V)	5. 0 ~ 9. 4	7. 4 ~ 14. 1	10.5~19.6	12. 5 ~ 23. 5
1 セルあたりの	4. 7	4. 7	4. 9	4. 7
最大動作電圧範囲(V)				
ヒーター抵抗 (Ω)	1.85 ~ 2.94	4. 15 ~ 6. 44	8. 1 ~ 12. 9	11.6~18.3
ヒューズ抵抗(mΩ)	1. 5			
寸法(mm)	4.0 x 3.0 x 0.85			

^{※1 2021}年4月末時点。

※2 欧州の有害物質の使用制限である RoHS 指令では鉛含有量 1,000ppm 以下の状態を鉛フリーと定義しています。

<デクセリアルズ株式会社について> https://www.dexerials.jp/

デクセリアルズ株式会社は、企業ビジョンとして「Value Matters 今までなかったものを。世界の価値になるものを。」を掲げ、スマートフォン、自動車領域等に機能性材料を提供するメーカーです。異方性導電膜(ACF)、光学弾性樹脂(SVR)、反射防止フィルム、表面実装型ヒューズ、工業用接着剤、両面・片面テープ等の電子部品、接合材料や光学材料等の製造、販売をグローバルで展開しています。

^{※3} ヒューズ部で遮断できる電圧の最大値です。ヒーター部の動作電圧ではありませんのでご注意ください。